



がんばるばい、益城！～心をひとつに～

町総合体育館駐車場で「益城復興初市」

春の訪れを知らせる「木山初市」が、今年は「益城復興初市」と名称を変え、3月4日、5日の2日間にわたり開催されました。

今回は、主催の町商工会と町に、熊本りんどうロータリークラブが共催として加わり、力強いサポートを得ての開催となりました。

4日は、少し早い春ともいえる暖かな天候で、5日はあいにくの雨模様となりましたが、会場の町総合体育館には延べ1万8千人が訪れ、駐車場が満車になるほどの大盛況ぶりでした。メイン会場には、露店やエア遊具が目いっぱいに広がり、町内のなじみの商店だけでなく、町外からもたくさんの店が出店しました。

「木山初市」の名物である「市だご」の売り場は、待ちに待ったとばかりに町内外からたくさんの人が駆けつけ、長蛇の列とできていました。

1 魅力的なステージに熱いまなざしを送る来場者 2 アツアツの「市だご」を作る皆さん 3 老若男女問わず、年一回の初市に大喜び 4 なじみの店も多くのお客さんで大にぎわい 5 露店のおもちゃに目移りする子どもたち



さまざまな隈取の描かれたお面を手取る来場者

“文化と技術”が織りなす映像世界

「変身歌舞伎」プレイイベントが開催

3月8日、ラスベガスでも好評を博した「変身歌舞伎」が保健福祉センターはびねすで開催されました。

これは、3月11日、12日開催の「歌舞伎シアターバーチャル座」のプレイイベントとして行われたもので、歌舞伎独特の化粧法である隈取と映像先端技術が融合した不思議な世界観を体験できるアトラクションです。

会場では、「おもしろい」や「どうなってるの？」などさまざまな声が聞かれ、最後は自分の顔が合成されたお面を、満足そうな笑顔で受け取りました。

Best Smile
今月のベスト笑顔

